

授業科目名	副科実習Ⅰ・Ⅱ	担当形態	実技		
		開講学期	春・秋		
担当教員	実技担当教員	単位	1	年次	1, 2, 3, 4

＝授業のテーマ及び到達目標＝

個人レッスンとなる副科実技履習に先んじて、その楽器の基礎的な奏法や知識についてグループ・レッスンで体験し、発展としての副科実技の履習に資する技能を培う。

＝履修の条件と学習の方法＝

履修を希望する学期の前学期に、学務課へ希望届を提出する。(継続して履修する場合は、継続届を提出する。)各自が十分に練習してレッスンに臨むこと。45分の実技グループ・レッスンの形態となる。

＝授業の概要＝

この授業は、個人レッスンとなる副科実技履習に先んじて、その楽器の基礎的な奏法や知識についてグループ・レッスンで体験し、発展としての副科実技の履習に資する技能を培うことを目標としたものである。

＝授業計画＝

(1年次)

1期 楽器の構造やその取り扱い方についての初歩から、最も基本的な技能の理論と取得を目指し、同じ目途を共有する履習生と学習経験を共有することで学ぶ。

2期 同上

＝テキスト(必携)＝

＝参考書・参考資料(必携)＝

＝成績評価の方法と評価の基準＝

演奏試験または各担当教員による授業内での評価で成績を出す。

＝その他＝

*副科実習 I・II の区分科目 (45 分グループレッスン)
管楽器実習 I・II、弦楽器実習 I・II、打楽器実習 I・II